



# サンコー 未来 夢通信



2014.7. 夏号 vol.20

<http://www.sankobussan.co.jp>



## 大建機商品パネル展示会

主催：社団法人大阪建設機械器具協会

関西第4営業所

所長 木村 宗明

5月16日金曜日太閤園迎賓館1階にて午後3時から午後7時まで開催されました。細川会長、細川副社長、木田次長、木村課長、4名が参加いたしました。

今年も『防災』をテーマにした商品が多く展示されていましたが、各企業の主力商品の展示も数多くありました。

各企業にPRタイムがあり自慢の商品、これから取り組んでゆく商品などすばらしい発表が会場の熱気をより熱くしました。

4時からは国土交通省近畿地方整備局の出前講座が開催され、近畿の災害対策や様々な取組をわかり易くご説明頂き、勉強になりました。特に人手不足が考えられる現場での未来型工事の進め方などは、興味深く聞き入りました。弊社は近年、畑の作物に害を及ぼす、獣害対策商品を展示致しました。特にいのしし、鹿から作物を守るために、電気を利用した柵の商品群サンプルとパネル、カタログを用意いたしました。いのししの北限は温暖化の影響もあるのでしょうか、宮城県のあたりまで広がっているようです。様々な要因によるいのししの増加が考えられますがこれから解決して行かなければならない問題のひとつだと思います。今回ご参加された各企業の皆様からは、東京オリンピックによる経済効果も関西に呼び込めるように努力し、活気ある大阪作りを目指すことを誓いました。

展示会に御協力頂きました企業の皆様、関係者の皆様に感謝申し上げます。

ありがとうございました。

## 日本のモノづくりを支える技術系派遣

本社 総務部



2020年東京五輪に向けた通信インフラの整備、超高齢化社会を見据えた医療革新など、様々な課題を抱える日本。そんな中、今後ますます必要とされるのが、各分野の技術者たちです。IT、化学、機械・エレクトロニクス。どれも新しい社会を形作るうえで欠かせませんが、こうした技術系産業の屋台骨を支えているのが、実は「技術系派遣」と呼ばれる派遣労働者であることは、あまり知られていないかもしれません。国内の派遣労働者約127万人(厚生労働省調べ。2013年6月1日時点)の内、専門的な知識や技術などが必要な「政令業務」に従事する派遣労働者は約54万人に上るんだそう。その内実に33.8%を「ソフトウェア開発」「機械設計」「研究開発」の技術系派遣が占めています。

業界を問わず、優秀な技術系の派遣スタッフは引く手あまたです。彼らは幅広い領域のスペシャリストが集まる技術系の派遣会社に在籍し、派遣先の求めに応じて様々なプロジェクトに参加しています。一般的に派遣という働き方は6カ月などの有期雇用のケースが多いんですが、技術系派遣は派遣会社が技術スタッフを無期雇用で抱えているケースも少なくありません。技術系派遣は、短期の契約を更新していく一般的な派遣とは一線を画しています。他の派遣の仕事に比べて賃金水準も高く、研修制度も充実している、様々な面で利点があるのが特徴なんだそう。なお、技術系派遣には、生涯現場主義で常に最新の技術にふれ、スペシャリストの道を突き詰めていく人が多いんだとか。まさに技術開発の最前線を渡り歩く職人たちですね。その存在無くして、日本のモノづくりは立ちゆかない!

サンコー物産株式会社 大阪市西区南堀江 4-33-29 TEL : 06-6533-1271 FAX : 06-6543-0914

### 経営理念

私たちは、住環境資材を通じてお客様へのお役立ちと地域社会に貢献します。  
 私たちは、お客様に優れた品質の商品・サービスを提供し、より豊かな暮らしを応援することで、地域社会のパートナーになることを目指します。

# FIFA ワールドカップブラジル大会



★ 関西第2営業所

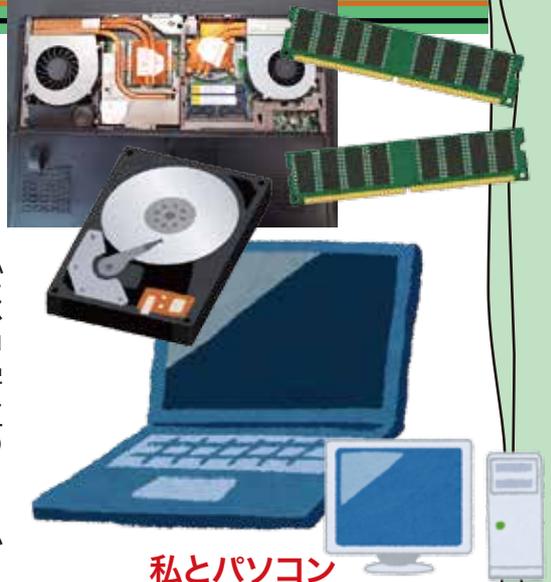


所長 平岩健三



私はサッカーが大好きで、昔はしていました。現在はと言うと、もっぱら見る方ですが…。

4年に一度サッカーの祭典が、この記事を書いている時に開催しております。読まれる頃には、優勝も決まっているでしょう。グループリーグも終了しベスト16が決定。日本はそこに姿はありませんでした(残念)。次は4年後、頑張れ！今回はアジア勢が1勝も出来ずに敗退。南米とヨーロッパはやっぱり強すぎ！世界との差を見せつけられました。決勝トーナメントに残っている国は何処も強いですが、私の注目はオランダ・ドイツ・コロンビア・アルゼンチンです。それ以外の国も凄いスーパープレーを見せてくれると思います。どこが勝ってもおかしくない位残っている国は強いです。目が離せない毎日です。時差の関係で日本戦でもちろんの事、今でも夜更かしをして、寝不足気味です。



私とパソコン  
中部営業所 所長 角南正実

私は、中学生のころからパソコンに興味を持ち、お小遣いやお年玉を貯めては、新しい物を購入していました。大学のころには、市販の物では満足できず自作で作るようになって行きました。工学系の大学だったので、長時間のバイトは出来なかつた事もあり、購入にかける予算が少なく、色々なパーツショップを資料片手に回り安価で性能の良い物を足を使って探していました。就職してからも、こんな生活が結婚するまで続いたので、部屋はパソコンのパーツと配線で埋まっています。私の人生の師でもある父は、常々「生懸命打込めば必ず結果は出る」と言っていました。今振り返って見ると、パソコン製作に打ち込んだ結果が、商品の素早い検索や新しい商品を探す事を得意とする私を形作ったのかもしれないですね。今使っているノートPCはお手製です。



本社総務部  
**編集後記**

暑中お見舞い申し上げます。いつもいつも弊社を支えて下さっているお取引先様へ心より感謝申し上げます。今月号も沢山の記事を掲載させていただいておりますので、是非ご一読下さいませ。暑い日が続いておりますが、体調管理を万全に、この夏を乗り越え充実した一年をお過ごし下さいますようお願い申し上げます。